

発刊日 平成 27 年 11 月 5 日

奈良体育学会会報

第 77 号 発行 奈良体育学会

事務局：天理大学体育学部（〒632-0071 天理市田井庄町 80）

ご挨拶：奈良体育学会大会開催にあたって

奈良体育学会 会員の皆様へ

奈良体育学会会長 中谷敏昭

日ごとに秋も深まり、紅葉の美しい季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、会員の皆様に平成 27 年度奈良体育学会大会の案内を送らせていただきます。前号でもお知らせしたとおり、今年度は、奈良体育学会の活動に役員として大いにご貢献してくださった中谷昭先生（奈良教育大学）と岡澤祥訓先生（奈良教育大学）の特別講演が行われます。両先生のこれまでの教育研究業績の集大成をお聞かせいただけるものと楽しみにしております。また、一般研究発表は 8 題が予定され、奈良体育学会らしく体育・スポーツ・健康の各分野にわたる多彩な研究成果が発表されます。年に 1 度の学会大会ですので、是非ともご参加いただき、皆様の研究・教育活動の一助になれば幸いです。

現在、日本体育学会は地域組織のあり方について改正を検討しています。これは、学会の一般法人化への移行に伴い下部組織としての地域支部制度を廃止し、地域組織の活性化を目指した取組みの一貫です。また、学会入会と同時にいずれかの地域（旧支部）を選択し、地域組織に会費を支払って入会するという現状にも問題があるそうです。会員が 100 数名の奈良体育学会としては、入会者の減少と退会者の増加が予想されるため、今後の活動に大きな支障を来すことは十分予想されます。日本体育学会では、各地域学会の活動に際して経済的な支援を行うことを検討していますが、これまでどおりの補助金を確保できるか不透明な点も残されています。

奈良体育学会として、今後も研究成果を発信し続けたいと思いますので、会員の皆様にも是非ともご協力をお願いする次第です。この件に関して、何らかの動きがあった場合は会報を通じて皆様にお知らせいたします。

平成 27 年度奈良体育学会大会のお知らせ

期 日：平成 27 年 11 月 28 日（土）

会 場：奈良女子大学・理学部 G 棟 2 階 G201 教室（別紙の地図をご参照下さい）

後 援：奈良県教育委員会、奈良県

大会プログラム：

12:00～ 受付（G201 教室前）

12:30～13:00 平成 27 年度奈良体育学会総会（G201）

<一般発表> 13:00～15:00

（発表時間 10 分、討論時間 4 分）

第1席（G201） 13:00～13:42

座長 寺田和史（天理大学）

1-201-1（13:00～13:14）

「スーパー食育スクール事業における食育の取組について

ー小規模特認校における個人カルテを用いた試みー

○松本範子（天理大学）、大坪昌子（大和郡山市学校給食事務所）、上村庸江（奈良県教育委員会保健体育課）

キーワード：食育、小学生、個人カルテ

要旨：文部科学省では、食育の有効性を検証し、食育の一層の充実を図ることを目的にスーパー食育スクール事業が実施された。奈良県では、平成26年度に本事業を受託し、小規模特認校において食育プログラムの開発及び食育の推進を図った、その成果について検討した。

1-201-2（13:14～13:28）

「柔道選手における目標設定に関する研究～継続的なメンタルサポートを通して～」

○藤後あさみ（奈良教育大学大学院）

キーワード：目標設定、主体性、柔道の有能感

要旨：高校女子柔道部員（20名）に対して、目標設定を中心とした継続的なメンタルサポートを行った。

そのサポートを通して、目標設定が選手の主体性や柔道の有能感に及ぼす影響について検討を加えた。

1-201-3（13:28～13:42）

「メンタルトレーニングの継続性を高めるサポートに関する研究

～変容ステージと自己への気づきに着目して～

○村上弘明（奈良教育大学大学院）

キーワード：メンタルトレーニング、変容ステージ、自己への気づき

要旨：競技力向上の基礎づくりとして、メンタルトレーニングを主体的に継続する選手の育成を目指しサポートを行い、変容ステージの変化や選手の気づきの変化から効果的なサポート法について検討を加えた。

第2席（G201） 13:44～14:26

座長 藤原素子（奈良女子大学）

2-201-1（13:44～13:58）

「骨盤底筋に関わる初期治療としての体操指導における有効性と今後の課題の検討」

○辻野和美（奈良女子大学大学院）、星野聡子（奈良女子大学）

キーワード：骨盤底筋、体操指導、アンケート

要旨：女性には骨盤底筋の脆弱化による疾患が起こることがあり、その治療の第一段階として、女性泌尿器科で少数数個別対応型の骨盤底筋体操指導を実施した。継続参加した約100名の女性に体操に関するアンケート調査を実施し、その結果から体操の効果と今後の課題を検討した。

2-201-2（13:58～14:12）

「虚弱高齢者における椅子からの立ち上がり能力」

○中谷敏昭（天理大学）、増田たまみ（天理大学大学院）、吉田 寿（天理大学大学院）

キーワード：加齢変化、下肢筋力、立ち上がり

要旨：加齢にともない筋力は低下するが、下肢筋力は体幹や上肢に比べて低下の割合は大きい。椅子からの立ち上がりは日常生活活動の基本動作でもあり、実施可能な範囲は広い。本研究では、二次予防事業対象者や要介護高齢者の虚弱高齢者を対象に、椅子からの立ち上がり動作を用いた下肢筋力の低下度を明らかにする。

2-201-3（14:12～14:26）

「自覚的疲労スケールを用いた連続ジャンプが直後の足圧中心動揺に及ぼす影響」

○増田たまみ（天理大学大学院）、吉田 寿（天理大学大学院）、中谷敏昭（天理大学）

キーワード：足圧中心動揺、外乱刺激、ジャンプ運動

要旨：連続ジャンプによる外乱刺激が直後の足圧中心動揺に及ぼす影響について検討する。対象者は、天理大学の男子学生5名であった。足圧中心動揺の測定は、閉脚立位で開眼および閉眼条件を30秒行い、直後、直後から15分後までの変化を観察した。その結果、単位軌跡長と矩形面積は大きく変化し、15分後には安静時の値に戻ることが明らかになった。

第3席（G201）14:28～14:56

座長 井上洋一（奈良女子大学）

3-201-1（14:28～14:42）

「ダブルダッチのパフォーマンス（演技）と採点競技化について考える」

○林 悠馬（奈良教育大学大学院）

キーワード：ダブルダッチ、創造性、複層性、点数化

要旨：ダブルダッチの大会における審査項目と得点結果をもとに考察をおこない、ダブルダッチ文化がもつ創造性・複層性に着目して、当該スポーツの採点競技を前提とする点数化についての是非を問う。

3-201-2（14:42～14:56）

「19世紀英国における新ゲーム「バドミントン」の誕生と普及に関する研究—1873年の動向について—」

○松井良明（奈良工業高等専門学校）

キーワード：英国、バドミントン、新ゲーム

要旨：初期の「バドミントン」の歴史については不明な点が多いが、本研究ではこれまでほとんど用いられてこなかった英国内で発行された新聞記事と広告に着目し、とくに1873年の動向を中心に検討を行った。その結果、1872年以前の新聞においてゲーム名としての「バドミントン」に関する記事と広告は見当たらず、最も早い記事は1873年6月7日付の『チェルトナム・ルッカーオン』紙に掲載された「ジェイムズ・リリーホワイト」による広告であることが判明した。彼が普及させようとした「バドミントン、ないしはローン・ラケット」というゲーム名は普及しなかったものの、英国では1873年の時点から、「バドミントン」が「新ゲーム」の名称としてその歩みを開始していたことが明らかとなった。

公開講演（G201）15:00～17:00

テーマ：「健康について考える—こころとからだからのアプローチ」

趣 旨：現代社会では、生活が便利になる一方で時間に追われ、ゆとりのない生活が続いている。生活の中で感じるストレスは、こころとからだのバランスを崩し生活習慣を容易に乱す。肥満からはじまる高血圧、糖代謝異常、脂質代謝異常などの生活習慣病は、医学・医療が進歩した現代といえども減る気配は一向にみられない。他方、国民の4人に1人が高齢者、8人に1人が75歳以上を占める超高齢社会においては、自らの力で生活を営むことがこれまで以上に求められる。奈良県は平成21年以降に高齢化率が全国を上回る状態が続き、生産年齢人口も全国平均より下回っている。また、死亡者1千人あたりの生活習慣病による死亡者数は全国で4位（2012年）となっている。そこで今大会では、「健康」について、こころとからだの両面から改めて考え、元気で長生きできる生活習慣を考え直す機会としたい。講師には、長年にわたり奈良体育学会の指導的な役割を果たしてこられた中谷 昭先生と岡澤祥訓先生をお招きして、これまでの研究成果を踏まえて貴重なお話しをしていただく。

特別講演1：中谷 昭（奈良教育大学） 「メタボリックシンドロームとその予防」

特別講演2：岡澤祥訓（奈良教育大学） 「生涯体育・スポーツの実践者の育成に関して」

座 長：中谷敏昭（天理大学）

17:00～ 懇親会（奈良女子大学 S棟ラウンジ） 会費：3,000円

※当日受付可ですが、料理の注文の都合上できるだけ **11月20日（金）**までに**天理大・松本**までお申し込み下さい。 電話・FAX：0743-63-2804 E-mail：n-matsu@sta.tenri-u.ac.jp

奈良女子大学構内図



奈良体育学会事務局よりお知らせ

○研究年報原稿依頼

奈良体育学会では、会員の皆様からの「奈良体育学会研究年報」への投稿をお待ちしております。
学会大会で発表していない論文も、「誌上発表論文」として掲載します。

締め切り：平成28年1月30日(金)【消印有効】

提出先：奈良体育学会事務局（天理大学体育学部 松本宛）

※ CD-ROMなどの媒体と（添付ファイル可）、プリントアウトした印刷物とをご提出下さい。
 折り返し受領のお知らせをしますので、メール等の連絡先を必ず添えて下さい。

書式：用紙A4、40字×40行 一段組、図表ともで4～6枚、上下左右の余白を20mm
 （過去の奈良体育学会研究年報をご参照下さい。）

※ 提出いただく原稿は、オフセット印刷しますので、完成原稿をお願いします。なお、カラー印刷をご希望の方は、白黒印刷のみに加えてカラー印刷にかかった費用を実費徴収させていただきますので、事前にお問い合わせください。

○日本体育学会から自動的に年会費が引き落とされない会員の皆様へ

平成27年度の年会費をお納め下さい。年会費は1,500円です。なお、2年続けて年会費を納入しない正会員は退会とさせていただきます。

【年会費振込先】 郵便振替 口座番号 01000-2-28169
 加入者名 奈良体育学会